

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	二次元原子薄膜ヘテロ接合の創製とその新原理テラヘルツ光電子デバイス応用
研究代表者	尾辻 泰一（東北大学・電気通信研究所・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>応募者は、テラヘルツ発振・受光素子に関する研究においてこれまで世界をリードする先駆的な研究業績を上げ、国際的にも高い評価を受けている。本研究は、応募者の創案による2重グラフェン構造と表面プラズモン励振を用いて、高効率の室温テラヘルツレーザの実現を目指す意欲的な研究提案である。</p> <p>基礎研究としてのインパクトのみならず、応用の観点からも重要である。未踏の周波数領域での室温テラヘルツレーザの実現は、次世代の情報通信やセンシングの分野に大きなインパクトを与えることが期待される。応募者の高い研究遂行能力から、本研究を円滑に遂行し、十分な研究成果を上げることが期待され、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>